

各教科の新カリキュラムの特徴

教科の新カリキュラムについて、3年間の学びの行程や取り組み、特色をまとめました。

国語科	多彩な言語活動 古文や漢文はもちろん、論理的な文章に加え、多面的、多角的な視点から考えを深められるよう複数の文章や資料の比較読みなど、新たな学力に対応した授業展開を1年生から行います。また、実社会に必要な読解力や記述力、表現力が身につく言語活動も取り入れています。
数学科	実践的な演習 多くの生徒が共通テストに向けた知識を養えるように、2年次に「数学BC」という選択科目を設置しています。また、3年次には演習の時間を多くとれるようにしており、より実践的な問題演習が行えます。
英語科	段階的なスキル向上と表現活動 1・2年次の論理・表現では2クラスを3分割して少人数授業を展開しており、ALTの先生を交えてプレゼンテーションやスピーチなどのアウトプット活動を多く行い、表現力の向上を図っています。1年次より段階的に語彙力、速読力、リスニング力、ライティング力を養成していき、3年次では、より発展的な内容を扱う選択科目も設置しています。
社会科	早期からの手厚い指導 歴史を受験科目として利用する生徒が多いので、3年間を見通して1年生から手厚く学習できるようにしてあります。
理科	幅広い教養と専門的な知識 本校では、科学的思考力を養うために、1年次から全員共通の必修講座で「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」を学習します。2年次からは主に理系進学者は選択で発展的な内容を扱う「物理」「化学」「生物」のうちどれか一つを履修し、さらに3年次で必要に応じて「物理」「化学」「生物」のうち1科目あるいは2科目を選択し履修することができます。3年間を通じた学習することで幅広い教養と専門的な知識、科学的思考力を身につけることができます。
体育科	課題解決力の育成 体育では3学年ともに自ら種目を選択し、年間で3～4種目行います。また、実技を通し、自ら課題を発見し、解決できる能力を育成していきます。1年次では基礎基本を中心に行い、多くの種目に触れ、2年次では1種目ごとの時間を確保し実践的な内容や試合を行います。3年次では、グループごとに生徒自ら単元計画を立て、主体的に授業に取り組み課題解決を行います。

情報科	<p>全員が身に付ける情報の知識や思考力</p> <p>1年次は必修科目として全員が「情報Ⅰ」を履修します。</p> <p>3年次では自由選択科目として「情報Ⅰ」の2単位増単分の開設があり、進路や興味関心によって履修することができます。</p> <p>全体を通して学習することで、幅広い知識や思考力を身に付けることを目標としています。</p>
家庭科	<p>全員が身に付ける家庭科の知識や意識</p> <p>2年次に全員が「家庭基礎」2単位を履修します。成人年齢18歳を迎えるにあたって、家庭生活の向上を目指し、持続可能な社会をつくる一員としての意識を育みます。</p> <p>3年次では、自由選択科目として「フードデザイン」を履修することができます。食品学・栄養学に加えて食文化や食生活における課題についての理解を深めます。</p>
芸術科	<p>音楽・美術・書道の芸術科目</p> <p>1年次の芸術科目は必修として全員が「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」のうちどれか一つを選択します。2年次では必要に応じて「Ⅱ」の付く芸術を選択できます。3年次では必修選択2の枠に、「演奏研究」「美術概論」「書道Ⅲ」（書道Ⅱを履修した人のみ）があり、進路や興味関心に応じて選択できます。自由選択科目として「素描」を開設しています。</p>